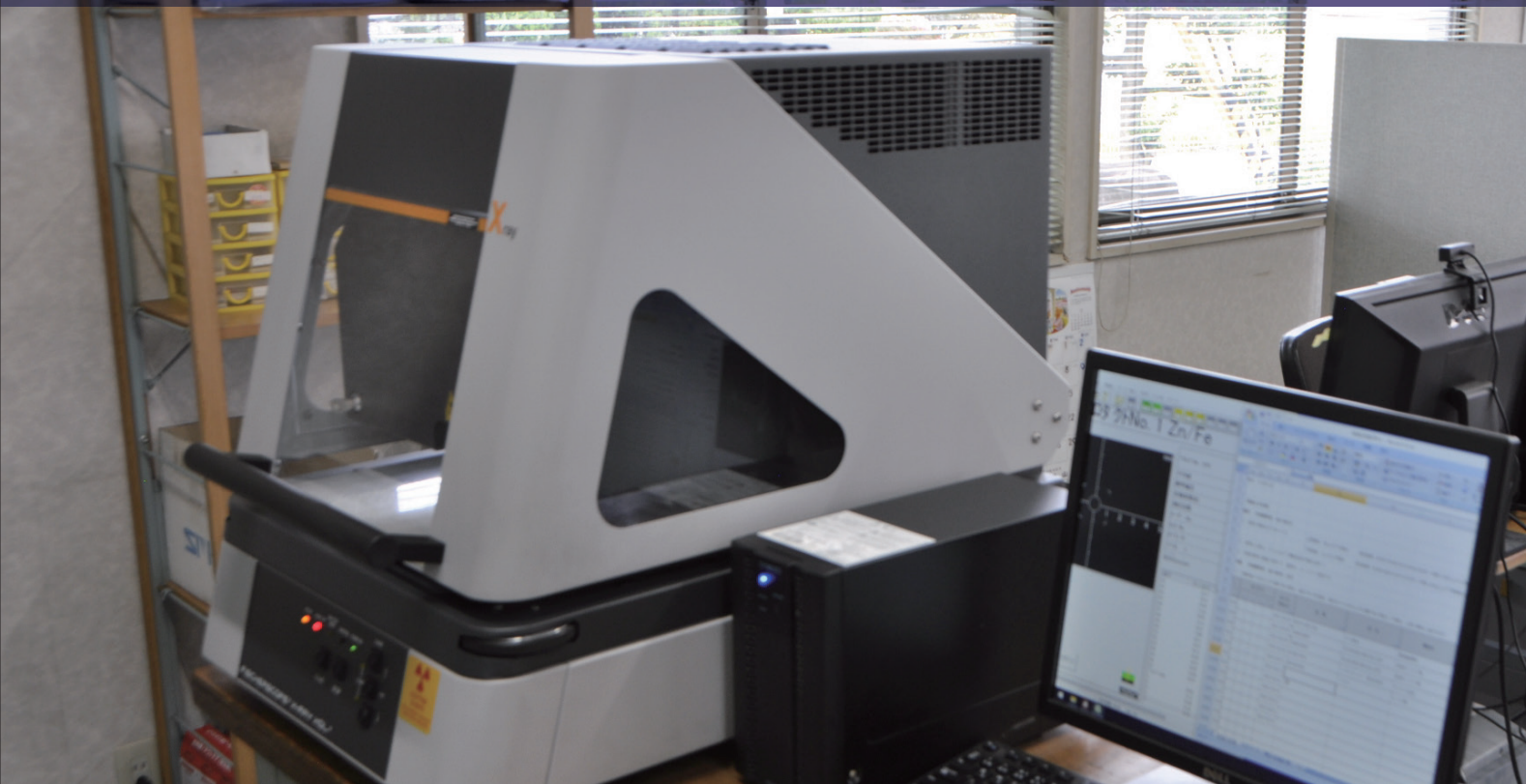


株式会社 岸本製作所

〈事業計画名〉蛍光X線膜厚測定器により鍍金膜厚の測定精度向上と、主導的薬液管理体制を確立する



測定精度の信頼度が自社の信頼度に直結 能動的な品質管理体制の構築へ

事業の背景

精度の甘い測定器が招いた事態

近年、電気亜鉛鍍金（めっき）において要求される「膜厚」は非常に高度化している。部品精度が高まって“遊び”が小さくなったことで、防錆効果や勘合部品との組立に影響する可能性があるミクロン単位の膜厚誤差が問題視されている為だ。

当社では他の鍍金加工業者と同様に電磁式膜厚測定器を使用していた。しかし、電磁式測定器は塗膜内の異物・キズを含めて測定してしまい、本来の膜厚より3～5ミクロン厚い数値を返す精度が甘いものだった為、ある時、膜厚範囲の指定がある製品で要求膜厚に対し約4ミクロン不足するという事態が起こってしまった。

そこで、①測定精度強化、②受動的であった鍍金薬液の品質管理体制改善、の2つを課題とし、高精度の測定が可能な蛍光X線膜厚測定器の導入を計画した。



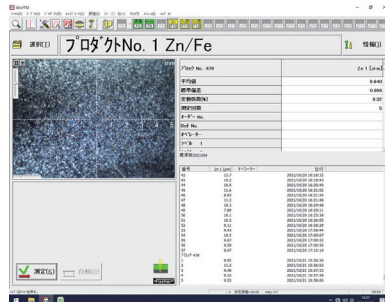
事業の成果

多くの顧客が納得する品質保証のエビデンス

本事業において課題解決の為、蛍光X線膜厚測定器を導入。電磁式測定器とは測定方式が異なり、異物やキズ、操作者による誤差も無く、遙かに高精度で正確な膜厚測定が実現。

「蛍光X線分析装置が無い企業には膜厚精度が要求される鍍金加工を委託すべきではない」と考える多くの顧客企業にも納得してもらえる品質保証のエビデンスとなった。

また、従来70～80分程掛かっていた鍍金薬液の濃度測定が同測定器により5～6分で完了。一般的な鍍金業者は濃度測定に毎日1時間以上を費やす事は困難であり、異常発生時に測定する後手の対応だったが、5～6分程度であれば毎朝ライン起動前の測定が可能であり、異常に対して先手を打つ、これまでと全く異なる品質管理体制を構築する事が可能となった。



株式会社岸本製作所の概要

材料手配から仕上げまで自社で完結

当社は昭和51年創業で、創業当時から変わらず金属プレス加工を主領域としており、パレル研磨・スポット溶接・切削加工・電気亜鉛鍍金・電着塗装・樹脂コーティング等の付随工程まで全て自社内で内製化している。材料手配から最終仕上げまで一貫して加工・処理が可能である。

当社の強みは、顧客に「作業の標準書通りに実施し、その記録を保持している等、最も基本に忠実で信頼のおける企業」と評された“誠実さ”であり、内製化による横持ち費用の削減や納期厳守、各工程の品質管理を“基本に忠実に生真面目に”徹底する事で「岸本に任せておけば、品質も納期も安心できる」「次回の外注委託の際にも岸本製作所を最優先に考える」という有難い評価を受けている。



株式会社岸本製作所の経営理念

重要保安部品の製造を通じて人命を守る

当社の主要顧客は自動車業界で、自動車関連部品の中でも重要保安部品といわれるシートベルト部品、エアバック部品、電動シェード部品、センサー部品等の製造・加工・表面処理を請け負っている。

万が一の交通事故の際、人命保護に直接かつ多大な影響を及ぼす部品である事を意識し、「自動車の重要保安部品の製造を通して、人命を守る社会活動に貢献する」を経営理念として、年々高度化していく顧客ニーズを満たすべく、生産設備・各種検査測定設備・技術力のアップデートを繰り返し、生産体制の基盤構築を続ける。



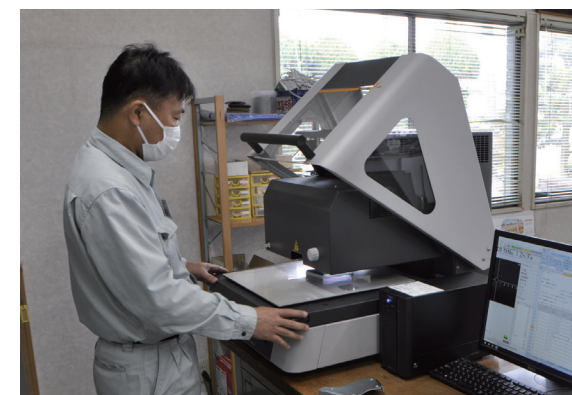
今後の展望

蛍光X線膜厚測定器を軸に、万全の品質保証体制で製造品目の領域拡大を目指す

近年、自動車のAI自動運転技術が進歩しているが、どれだけ進歩したとしても命を守る重要保安装置を欠く事は無い。重要保安装置を構成する部品の鍍金仕上げは、部品表面の装飾性よりも防錆・防腐等、部品そのものの耐久性を保持するという重要な意味があり、果ては重要保安装置自体の信頼性に直結する。

蛍光X線膜厚測定器を導入したことで、仕上げの鍍金品質にも最高レベルのエビデンスが追加され、当社の製造する重要保安部品は、顧客からの評価・信頼度も高くなっている。

今後も益々複雑化・高度化していくと思われる重要保安部品と、更には重要保安部品以外の製造・加工の受注を目指し、引き続き品質管理を徹底したいと考えている。



株式会社 岸本製作所

業種分類 輸送用機械器具製造業

事業内容 プレス金型設計製作・プレス加工・ナイロンコーティング加工/PVCコーティング加工・電気亜鉛鍍金加工・ロボット溶接加工/（スポット溶接、CO2溶接）・組立加工・パレル研磨加工・カチオン電着塗装

代表者名 代表取締役 岸本 勝徳

所在地 (本社工場) 奈良県北葛城郡広陵町安部 135
(香芝工場) 奈良県香芝市別所 39

連絡先 TEL:0745-55-1368/FAX:0745-55-0258

ホームページ <http://kishimoto-ss.co.jp>

E-MAIL eigyou@kishimoto-ss.co.jp